

美里町農業委員会委員の推薦及び応募の状況（最終公表）

令和2年11月30日時点

- 1. 推薦を受けた者の数（そのうちの認定農業者の数） 17人（11人）
- 2. 応募した者の数（そのうちの認定農業者の数） 1人（ 一人）
- 3. 推薦を受けた者及び応募した者に関する情報の詳細

農業委員会委員の推薦及び応募に応じた者

| 受付 番号 | 応募者（推薦を受けた者） | | | | | | | | 推薦者 | | | | 応募及び推薦の理由 |
|----------|-------------------|----|----|----|--|--------------------|----------|----------|---|----|----|----|---|
| | 氏名 | 職業 | 年齢 | 性別 | 経歴 | 農業経営の状況 | | 認定農業者の有無 | 氏名（個人、法人・団体の詳細） | 職業 | 年齢 | 性別 | |
| | | | | | | 耕作面積 | 主な経営作目 | | | | | | |
| 1 | しばやま しんじ 柴山 真二 | 農業 | 58 | 男 | 昭和57年3月 宮城県農業実践大学卒業 美里東部土地改良区総代 農事組合法人和多田沼理事 平成27年4月～現在 農業委員会委員 | 田 0.1ha 畑 0.5ha | 施設園芸(バラ) | 有 | 和多田沼地域実行組合連絡協議会 会長 今野 勝芳 事業の目的: 町、JA等との連携 構成員の数: 45人 | - | - | - | ○推薦の理由 近年の農業情勢に伴って地元、地域だけでなく、隣接した地域も含めて農地利用、農地集積など、いろいろな情報と状況を見て、考え、相談しながらその中心となって頂きたいと推薦します。 地域のためによりよい農地利用、活用が出来るようリーダーシップを取って頂きたいため推薦します。 柴山真二氏はこれまで、農業委員会委員として地域農業の保全、利活用の発展に寄与して頂きました。南郷上地区(和多田沼、福ヶ袋、練牛の三地域の総称)に於いて、農業に精通した中心的人物で、農業委員会委員として更なる活躍が期待できる為、柴山氏を推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 地元、地域を問わず、農地の出し手、受け手の利用調整を適格に対処していく。 農業者の事情を考慮して、農業者年金の加入促進を行う。 営農組合の法人化や新規就農者の相談に対応する。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|------------|----|---|--|---------|------|---|-----------------|----------|----------|--------|--|
| 2 | しげや まさゆき 澁谷 正行 | 農業 | 71 | 男 | 昭和 43 年 3 月 宮城県小牛田 農林高等学校卒業 平成 22 年 3 月 美里町役場定 年退職 平成 26 年 4 月～令和 2 年 3 月 中組行政区長 2 期務める | 畑 0.4ha | 露地野菜 | 無 | 佐々木 邦康 田村 一司 | 農業 農業 | 69 70 | 男 男 | <p>○推薦の理由</p> <p>澁谷候補者は、地域行政に長く携わり、又、農業人としても勤勉で集落の実行組合でもリーダー的な存在で優れた指導力の有する候補者です。澁谷候補者は、現在の農業環境を明るく楽しい農業に若者が就農しやすい環境を、又、高齢者農業人が安心して後継者に任せる環境を作れる唯一の候補者です。是非、農業委員会委員として活躍できる様、選考して頂きます様、推薦を致します。</p> <p>○農業委員会委員としての抱負等</p> <p>私は美里町役場に 38 年余り勤務しました。そのうち半分は農業に関わる仕事をしてきました。その知識と経験を微力ながらも地域農業のあり方などの諸課題や改善策をどのように進めていくか、農家の皆さんとじっくり話し合い、目先にとらわれない腰を据えた農業経営の実現に協力していきたいと考えています。</p> |
| 3 | ちば ひらく 千葉 啓 | 不動産会社役員、農業 | 66 | 男 | 石巻高校卒業 昭和 52 年 3 月 愛知工業大学 卒業 平成 28 年～30 年 美里町行政 改革推進委員会会長 | 田 0.2ha | 水稻 | 無 | — | — | — | — | <p>○農業委員会委員としての抱負等</p> <p>時代は昭和、平成、令和と移り変わり、そして、コロナ禍激しく予想しにくい時代です。戦後の食糧不足もなくなりました。然し、時代の変化に取り残された法律、規則等が未だ幾つか残っているのが現状です。今年、これまで改正がされていなかった民法が大幅に改正し施行されました。経済環境だけでなく旧法と新法が入り混じる困難な時代に入りました。数年前、当町にも農地法 5 条違反と河北新報記事がありました。正否は関与しませんが。よく考えると、現行の農地法は扱い難い、使い難い、等と時代の流れ、変化に法律が追い付いて来ない事が最大の原因と思います。時代の変化に沿った法律の扱いが出来る術が必要となります。他県では既に行っています。農業委員会は許可権者ではありません。農地の所有者、使用者への助言者です。上記の事柄から農地法、権利移動等に関するプロ知識が必要。因って、次世代の若者の為、農地所有者と農地利用者と農地使用者との間を取り持つ方法、術を構築して、貢献したいと考えて応募しました。</p> |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|----|----|---|---|-----------------------|----------|---|--|---|---|---|--|
| 4 | おの やすひろ 小野 保裕 | 農業 | 58 | 男 | 昭和60年3月 岩手大学農学部農学科卒業 昭和59年度 農業改良普及員資格取得 平成16～17年 JAみどりの青年部南郷支部委員長 平成22年～現在 美里東部土地改良区総代 平成28年～令和元年 美里町認定農業者連絡協議会会長 平成27年4月～現在 農業委員会委員 令和2年～ JA新みやぎみどりの農業所得者青色申告協議会会長 | 田 13.9 ha 畑 0.1 ha | 水稲、小麦、大豆 | 有 | 小島実行組合 組合長 安部 陽一 事業の目的:組合員が協同して農業生産をあげ経営改善を諮ることを目的とする 構成員の数:26人 | - | - | - | ○推薦の理由 小野保裕氏は、当組合の副組合長として組合運営や農用地利用調整に尽力している。また、農業委員や土地改良区総代等を努め、地域農業のリーダーとして活躍しており、今後も農業委員として美里町農業の発展に寄与してもらいたいため推薦する。 ○農業委員会委員としての抱負等 現在、美里町においては、圃場整備事業の進展や地域の話し合いによる集団転作の実施によって、他の市町村より遊休農地も少なく、農地集積も進んでいるように思います。また、集落営農組織の法人化も一部地区で進んできています。しかしながら、担い手の高齢化、後継者不足の問題は顕著でありこれまで以上の法人化の推進や、地域の担い手への農地集積が必要と思います。こういった地域の実情をふまえて、 ○遊休農地の発生防止解消対策 ○農用地利用集積の改善 ○担い手経営対策の推進 などの課題にこれまでの経験を生かして農業委員として取り組んでいきたいと思っています。 |
| 5 | へんみ かつとし 邊見 勝寿 | 農業 | 56 | 男 | 昭和57年3月 宮城県小牛田農林高等学校卒業 二又集落営農組合組合長 北浦中広域協定運営委員会会長 平成18年4月～現在 農業委員会委員 平成30年4月～現在 農業委員会会長職務代理者 | 田 6.2 ha 畑 1.5 ha | 水稲、大豆 | 有 | 二又興農実行組合 組合長 横山 和雄 事業の目的:農業者の相互理解 構成員の数:43人 | - | - | - | ○推薦の理由 これまで15年間の農業委員としての実績があり、二又集落営農組合の組合長として14年間、二又興農実行組合と連携を取りながら農地の利用活用ができるよう働きかけて頂いたり、北浦中広域協定運営委員会会長として北浦地域の農用地保全活動においてもリーダーシップをとっており、広く地域に貢献できる最適任者であるため推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 今日まで15年間の委員としての活動経験を活かし、又、地区の農業者として地域との関わりを持ち、美里町の農業が若い担い手からも魅力のある産業として発展できる様考えながら活動して行きたい。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|----|----|---|---|---|---|---|----------------|---------------|----------|--------|---|
| 6 | ふるうち せいき 古内 世紀 | 無職 | 69 | 男 | 昭和52年3月 北海道大学法学部法学科卒業 昭和52年4月～平成24年3月の定年退職まで宮城県立高等学校教諭として社会科（主に政治経済、従として地理・歴史等）を教えた 平成24年4月～平成26年4月 加美町の義兄の水稲耕作（主に苗床作り～田植え、稲刈り）を手伝う 平成26年4月～平成28年3月 美里町峯山団地自治会会計 平成30年4月～現在 農業委員会委員 | — | — | 無 | 及川 和美 山田 秀一 | 行政区長 自治会会計 | 80 72 | 男 男 | <p>○推薦の理由</p> <p>1980年、峯山団地造成時「造成不賛同」だった方の「農地（田園）」が残り、住宅地内の「未耕作地」として環境衛生上、問題となりつつある現状です。古内氏は、平成30年4月以降、初めての「農業委員」として行政区内のこの問題に積極的に取り組み、解決に尽力されてきました。今後共、「有識者」として活躍される様応援したいと考え推薦いたします。</p> <p>古内世紀氏は長年にわたり、県内の県立高等学校の社会科教員として教鞭を執り、定年退職されました。定年後は地域社会のために尽力され、平成30年4月からは農業委員として活躍されました。美里町の農業の発展のため、引き続き農業委員として活躍されますよう推薦いたす次第です。</p> <p>○農業委員会委員としての抱負等</p> <p>今、わが国農業は経済の自由化・グローバル化、情報・通信技術の進展など環境の激しい変化の中で、一層のコスト削減と土地および付加価値生産性の向上を図り、環境に優しく安全でより美味しい食糧を生産することが求められている。また、急がれる課題は担い手の高齢化と後継者の不足への対応および増加する遊休農地・耕作放棄地の解消である。こうした中で、農業委員会は本来『契約の自由』に立つ私人間の法律を調整し、各種法令を適用して、農地に対する権利の移動・設定の円滑化や、遊休農地の解消と農地利用の最適化を促進し、担い手の育成・発展を支援して、以って個々の農家経済の安定と地域農業の発展を図るなどその役割は重要である。</p> <p>私が農業委員に再任されたときは、この農業委員会の使命を自覚し、これまでの3年間の農業委員の経験で得た知識・情報等を更に深め、中立委員の立場で、法令の慎重かつ公正・公平な運用に努め、地域農業の発展のため努めたい。農業者の声に耳を傾け、同僚や関係機関と連携し、担い手への農地の集積・集約化と農地利用の最適化を図るべく、微力ながら尽くしたいと思ひ応募しました。</p> |
|---|-------------------|----|----|---|---|---|---|---|----------------|---------------|----------|--------|---|

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------------|----|----|---|--|----------------------|---------------------------|---|--|---|---|---|--|
| 7 | おがた つかさ 尾形 司 | 農業 | 42 | 男 | 平成13年3月 東京経済大学 経済学部卒業 平成30年4月～現在 農業委 員会委員 | 田 7.0 ha 畑 0.5 ha | 水稲、大豆 施設園芸（水菜、 小松菜） | 有 | 荻埴北生産組合 組合長 佐野 善弘 事業の目的:組合員 の効率的な農業経 営の実現、地域農業 の担い手として発 展していく 構成員の数:10人 | — | — | — | ○推薦の理由 美里町農業委員として地域の農地に関する調査、 指導を的確に行っている。また、荻埴北生産組合の 中では共同作業を率先して行い美里町認定農業者 として地域の中心的なリーダーとして活動をして いるので推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 ・抱負 地元の農家さんとの対話を重視して、情報交換を 積極的に行っていくことで、美里町農業の健全な発 展に貢献できるように日々活動をしていきたいと 思います。 ・将来への展望等 昨今、米の消費量が減ってきていることから、稲 作中心の農業から脱却するためにはどうしたら いいか、新たな作物は何がいいのか、真剣に考えて 実践していくことが大事だと思います。また、農業 人口の高齢化、担い手不足が深刻化していますが、 それを克服する切り札と期待されている「スマート 農業」（ドローンや無人農業用機械などのITやA I技術を活用した農業）を取り入れて行くことが新 たな労働確保へと繋がっていくと思います。 |
| 8 | ささき こういちろう 佐々木 幸一郎 | 農業 | 69 | 男 | 昭和47年3月 宮城農業短期 大学卒業 平成30年4月～現在 農業委 員会委員 | 田 4.6 ha 畑 0.6 ha | 水稲、花き、園芸 ハウス作物 | 有 | 小沼実行組合 組合長 小堤 宏美 事業の目的:共同作 業 他 構成員の数:19人 | — | — | — | ○推薦の理由 水稲、園芸を中心とした専業農家で地域からの信 頼も厚く、小沼実行組合を務め多くの農業関係の役 職に携わり、老若男女からも人望を集めているとこ ろです。将来の農業の在り方や農業後継者を育てて もらいたく推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 農業委員会委員として活動し、いろんな知識を得 たと感じています。農業情勢が益々厳しくなる中、 農家の皆さんの話しを聞きながら地域の農業、そし て農地を前向きな方向へ導くために努力したいと 考えています。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------|----|----|---|--|----------------------|---------------|---|-------------------|----------|----------|--------|--|
| 9 | ひさみち ゆうえつ 久道 雄悦 | 農業 | 60 | 男 | 昭和54年3月 宮城県小牛田 農林高等学校卒業 平成21年4月～現在 農業委 員会委員 | 田 7.3 ha 畑 0.1 ha | 水稻、麦、大豆 野菜 | 有 | 武者 美太郎 舘崎 賢悦 | 農業 農業 | 69 71 | 男 男 | <p>○推薦の理由</p> <p>農業委員として地域農業の振興に積極的に取り組んでおり、地域の信頼も厚く農業委員として適任のため推薦します。</p> <p>○農業委員会委員としての抱負等</p> <p>農業委員になって4期が過ぎようとしています。私の新任当時からの問題である農業者の高齢化、後継者不足が解決するどころか悪化の一途を辿っているように思われます。このままでは近い将来耕作者不在となる農地が多く発生すると考えられます。また、これ以外にも様々な課題があります。解決していくためにも地域全体で考え、行動することが必要になってくることでしょう。</p> <p>農業委員の役割は、人と農地をつなげていくものと考え、これからも、そのための活動を行っていききたいと思います。</p> |
| 10 | ふくだ なおこ 福田 なほ子 | 農業 | 66 | 女 | 昭和48年3月 宮城県立涌谷 高等学校卒業 平成17年3月 みどりの農業 協同組合退職 平成27年4月～現在 農業委 員会委員 | 田 0.8 ha 畑 0.2 ha | 水稻 梨 | 無 | 佐々木 恵美子 邊見 智香子 | 農業 農業 | 60 46 | 女 女 | <p>○推薦の理由</p> <p>福田なほ子さんは現職の農業委員であり、農業者年金加入推進部長を務められています。これまでの農業委員としての豊富な経験と知識を生かし、持ち前の行動力と女性の視点でこれからも地域の農業委員として貢献できる方ですので推薦します。</p> <p>○農業委員会委員としての抱負等</p> <p>農業者年金加入推進部長として6年間農業者年金の普及推進広報活動に携わってきました。今までの経験を活かし、女性委員ならではの役割を意識し、女性の視点から地域農業者の未来に関わっていききたいと思い、応募しました。</p> |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|----|----|---|---|--|---|---|---|----------|----------|--------|---|
| 1 1 | ごとう こうたろう 後藤 幸太郎 | 農業 | 64 | 男 | 昭和49年3月 宮城県小牛田 農林高等学校卒業 平成18年4月～現在 農業委 員会委員 下平針営農生産組合組合長 JA新みやぎ総代 江合川沿岸土地改良区総代 中埜農地水広域協定副組合長 小牛田地域集団転作推進協議 会会長 | 田 3.3 ha 畑 0.3 ha | 水稻 ハウストマト、野 菜 大豆(生産組合作 付17ha) | 無 | 佐藤 主彦 佐藤 實 | 農業 農業 | 69 71 | 男 男 | ○推薦の理由 農業委員として5期の経験があり、地域の信頼は 厚く、又、下平針営農生産組合組合長として水田農 業の生産活動に取り組み、農業委員として適任であ り推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 水田農業の生産調整、担い手対策等課題は山積し ておりますが、これまでの経験を生かして取り組ん でいきます。 |
| 1 2 | わがつま たくみ 我妻 卓美 | 農業 | 52 | 男 | 平成元年3月 宮城県実践大 学校畜産科卒業 平成26年1月～現在 農事組 合法人みらいす青生常務理事 平成27年4月～現在 農業委 員会委員 | 田 4.2 ha 畑 0.2 ha ※農事組合法人 みらいす青生分 田 105.4 ha 畑 3.8 ha | 水稻 水稻、小麦、大豆 野菜 | 有 | 農事組合法人みら いす青生 代表理 事 齋藤 昌徳 事業の目的:組合員 の農業に係る共同 利用施設の設置、農 作業の共同化、農産 物の生産・販売・出 荷 構成員の数:28人 | — | — | — | ○推薦の理由 非常に研究熱心で農業全般にわたり知識も豊富 である。認定農業者で当法人の常務理事として中核 的な役割を果たしており、地域農業のリーダーとし て人望も厚く当地域における唯一無二の人材とし て申し分のない人物と判断できることから、全面的 に推薦するものである。 ○農業委員会委員としての抱負等 少子高齢化が進む中、我が国の農業を取り巻く環 境は、農業後継者不足、高齢化、農産物価格の低迷 など厳しさが増えています。また、農産物の関税自 由化による国際競争力の激化や食の安全安心など 課題が山積している状況にあります。私はこれまで 培った農業委員としての経験を活かし、農地保全・ 安定した農業経営のために農業委員会の役割がま すます重要になることを自覚し、微力ながらその一 端を担う決意で応募するものです。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------|----|----|---|--|---|--------------------------------|---|---|----------|----------|--------|---|
| 13 | いとう けいこ 伊藤 恵子 | 農業 | 68 | 女 | 昭和46年3月 宮城県加美農業高等学校卒 平成16年～現在 宮城県女性農業委員の会「アグリレディス21」会長 平成22年3月～現在 株式会社はなやか設立、代表取締役就任 平成26年～平成30年 全国農業委員会女性協議会会長 平成11年～現在 農業委員会委員 平成21年～平成24年 農業委員会会長職務代理者 平成30年～現在 農業委員会会長 | 田 0.1 ha 畑 0.1 ha ※株式会社はなやか分 田 28.3 ha 畑 0.1 ha | 水稻 野菜 水稻、小麦、大豆 野菜 | 有 | 上二郷地域実行組合連絡協議会 会長 藤倉 慶治 事業の目的:地域農業の振興 構成員の数:141人 | — | — | — | ○推薦の理由 農業、農村を巡る情勢は、高齢化、担い手不足、コロナ禍の影響とまったなしの課題が山積しておりますが、伊藤恵子さんの長年の農業委員として培った実績と経験をこれからも大いに発揮され、また、持ち前の行動力と深い見識をこれからも活かし、農業農村を守り、現場の声を政府に届ける公的代表として、女性らしい視点も加味しながらこれからも持てる力を大いに発揮し、活躍を期待してここに推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 農地を守り活かし地域農業の振興に努め次世代につないで行く。その為には法令業務はもちろん、農業者の声に耳を傾けながら農地利用の最適化に取り組んでいきたい。(担い手への農地の集積集約化。耕作放棄地の発生防止解消。新規参入の促進。) 安心・安全な食糧を次世代が生産出来る様に最適化を進めたい。農業者の身近な存在でありたい。 |
| 14 | わたなべ まさみつ 渡邊 雅光 | 農業 | 68 | 男 | 昭和45年3月 宮城県小牛田農林高等学校農業科卒業 小牛田町立小牛田幼稚園、小牛田小学校、小牛田中学校PTA会長 小牛田町教育委員会委員 美里町国保運営委員会委員 宮城県農業共済組合総代 下の下実行組合長 平成17年～平成30年 農業委員会委員 平成24年～平成30年 農業委員会会長 | 田 9.9 ha 畑 0.4 ha | 水稻、大豆 | 有 | 直枝 光男 後藤 伸 | 農業 農業 | 69 65 | 男 男 | ○推薦の理由 渡邊雅光氏は、これから地域農業を支える若い担い手のためにと、3年程前に農業委員を勇退されました。しかし、この3年間、全国的には急激な担い手不足や高齢化が予想をはるかに超える速度で進行し、正に農業は危機に直面しています。 我々の住む地域も例外ではなく、圃場整備工事もこれから益々進捗する見込みであり、担い手への農地集積や圃場整備後の本換地という業務も控えております。このような状況であるため、一度は勇退された渡邊雅光氏にもう一度農業委員に復帰して頂きたく、地域農業の維持発展のためにも経験があり適任者でもあるため、ここに推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 一度は引退した身ですが、地域農業の維持発展に寄与するため、農地集積や利用調整、多様な担い手の育成等、この3年間で培った経験やこれから迎える困難を伴う業務に正面から立ち向かい、今後の地域農業や美里農業を発展させるため、応募を決意しました。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------|----|----|---|---|-----------------------|----------------|---|---|---|---|---|---|
| 15 | すずき ゆきひろ 鈴木 幸博 | 農業 | 62 | 男 | 昭和51年3月 宮城県小牛田 農林高等学校農業科卒業 平成21年4月～現在 農業委 員会委員 | 田 14.3 ha 畑 0.1 ha | 水稻、小麦、大豆 野菜 | 有 | 中二郷16実行組合 組合長 小茄子川 清 事業の目的：地域農 業に関連する水路払 い、草刈り作業、コ ミュニティーの場の 提供 構成員の数：22人 | — | — | — | ○推薦の理由 地域農業の将来を見据え、多方面でリーダーシ ップのとれる農業者です。美里町の農業に必ずや貢献 できる適任者であるため推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 これまでの委員会活動を通して、日に日に担い手 の確保の難しさ、農地移動の困難さを痛感していま す。その中で、他の委員と連携し美里農業の振興・ 発展を目指し、下記のとおり力を注いで行きたいと 思います。 1. 担い手の育成と確保 作業の効率化を考え、少ない担い手で多面積を経 営できるよう、地域内はもちろん、美里町に隣接し、 町内に農地を保有する町外の農家・担い手との交流 等も考え、農地の集約化（交換、売買、賃借におい て）を図る活動 2. 担い手の所得の向上を図る上で青色申告の普及 と、優位性の大きい農業者年金への加入を促進する 活動 3. 耕作放棄地の解消等、農業全般にわたる活動 |
| 16 | ゆさ きょういち 遊佐 恭一 | 農業 | 52 | 男 | 昭和63年4月 宮城県実践大 学校卒業 新みやぎ農業協同組合小牛田 地域園芸生産協議会会長 令和2年～ 美里町認定農業 者連絡協議会会長 令和2年～ 宮城県認定農業 者組織連絡協議会副会長 平成24年4月～現在 農業委 員会委員 | 田 16.0 ha 畑 0.1 ha | 水稻、大豆、野菜 | 有 | 田中谷地中営農生 産組合 組合長 佐々木 茂 事業の目的：農業経 営 構成員の数：9人 田中谷地中実行組 合 組合長 遊佐 清 事業の目的：農業経 営、地域組合員の相 互理解 構成員の数：15人 | — | — | — | ○推薦の理由 営農生産組合では会計を担当し、肥培管理等を積 極的に行い、組合の牽引役として活躍している。こ れまでも農業委員として情報提供等の助言も頂き、 組合の発展に寄与してきた。よって、農業委員候補 に推薦いたします。 当組合としては、地区の農業担い手として各種行 事、事業に積極的に参加し活動している。また、バ レイショ、ニンジンの栽培など先進的な発想で農業 経営を行い、地域の牽引役として活動している。こ れまでの農業委員としての経験を最大限活かし、活 動して頂きたく、農業委員候補者として推薦する。 ○農業委員会委員としての抱負等 本町農業の発展のため、あらゆる方策を見い出 し、すべての農業者の経営改善の力になりたい。そ のため、自ら実践し、地域の模範となる農業者であ りたい。 委員としては、これまでの農地委員長の経験を活 かし、遊休農地の解消を進め、持続可能な食糧生産 を目指す農村構築を推進したい。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------------|----|----|---|--|-----------------------|-----------------|---|--|---|---|---|---|
| 17 | かたくら すみこ 片倉 澄子 | 農業 | 57 | 女 | 昭和57年3月 宮城県松山高 等学校卒業 | 田 3.8 ha 畑 0.02 ha | 水稲、小麦、大豆、 野菜 | 無 | 大柳地域実行組合 連絡協議会 会長 繁泉 勝弘 事業の目的:地区の 生産、生活の向上発 展と連絡協調を図 る。 構成員の数:75人 | — | — | — | ○推薦の理由 地域農業や保全活動に積極的に参画し、地域に大 きく貢献しています。女性農業従事者として、美里 町の農業振興にお役に立つ方でありますので、強く 推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 農業従事者の高齢化、担い手不足、遊休農地の増 加など美里町の農業を取り巻く状況は厳しさを増 しています。 私は農家に、農業に、農村地域に女性の役割と力 は大きく不可欠だと思います。女性農業従事者の方 の意見を取り込みながら地域農業の振興の一助に なれるよう努力いたします。 |
| 18 | しげいずみ じゅんこ 繁泉 順子 | 農業 | 62 | 女 | 昭和52年3月 仙台白百合学 園高等学校卒業 小原流いけばな一級家元教授 | 田 12.1 ha 畑 0.2 ha | 水稲、大豆、小麦、 野菜 | 無 | 大柳第5実行組合 組合長 横山 登 美子 事業の目的:農業生 産と生活向上発展 を図る。 構成員の数:11人 | — | — | — | ○推薦の理由 努力家で責任感が強く、誰とでも積極的に明るく 会話のできる方で、プラス志向の持ち主でありま す。美里町の農業振興に女性の立場から活躍を期待 し推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 農業情勢も時代とともに変化する中で、特に地域 で女性が活躍できる場を創る等、地域農業の振興と 発展に貢献したい。 また、外資系生命保険会社を定年退職し、その経 験を活かし、農業者年金の加入推進に努めたい。 |